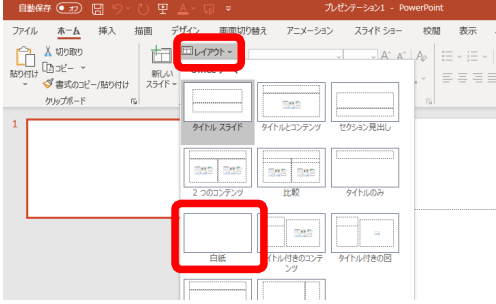
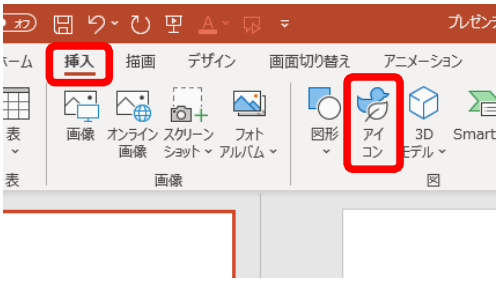

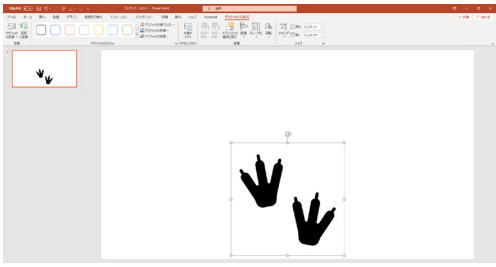
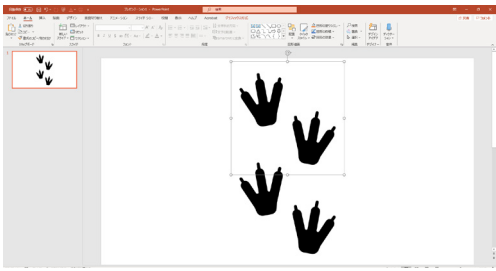
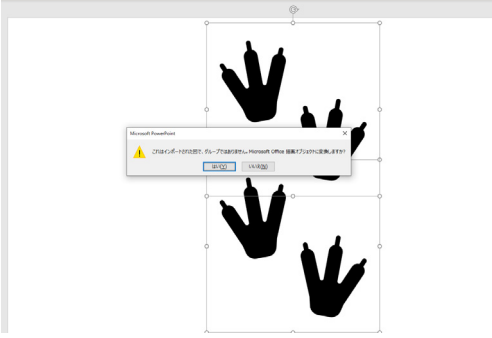
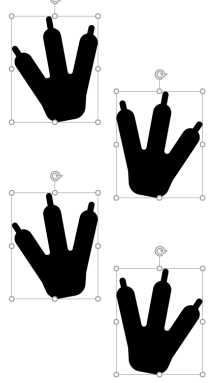
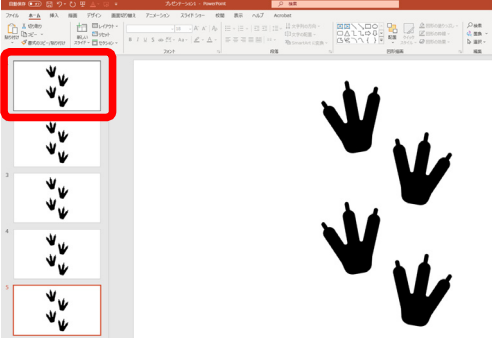
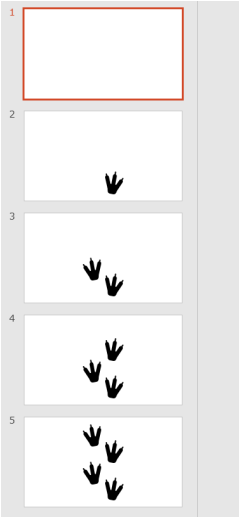


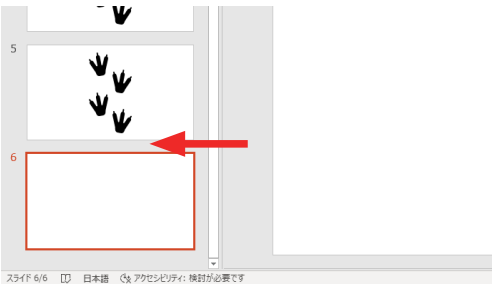

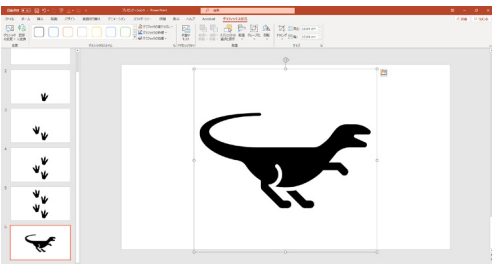
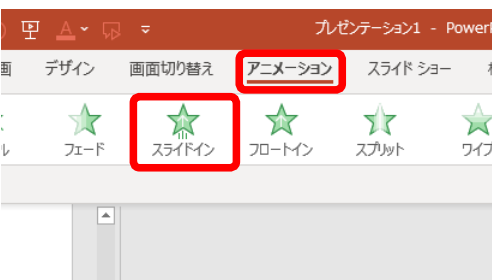


GIF アニメ書き出し

このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 1911 で書かれています

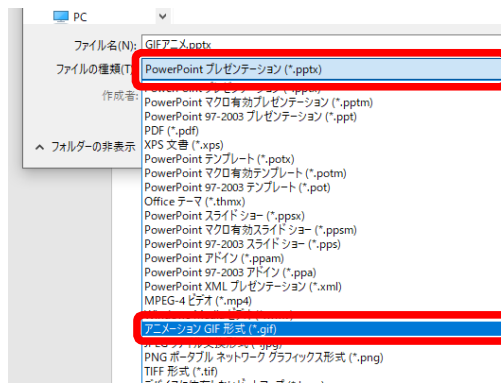
1		「レイアウト」→「白紙」。
2		どんなスライドでも GIF アニメにできるのですが、例として、恐竜の GIF アニメを作ってみましょう。 「挿入」→「アイコン」。
3		「恐竜」から「足跡」を選択し、「挿入」。
4		←のようなサイズ・位置に調整。
5		「Ctrl」 + 「D」 キーで複製し、上に配置。

<p>6</p>		<p>2つの足跡を選択し、「Ctrl」 + 「Shift」 + 「G」キーで「グループ解除」。 注意が出ますが、「はい」。</p>
<p>7</p>		<p>もう一度、「Ctrl」 + 「Shift」 + 「G」キーで「グループ解除」。 足跡が1つずつに分かれます。</p>
<p>8</p>		<p>画面左のスライドのサムネイルをクリックし、「Ctrl」 + 「D」キーを4回押して複製。</p>
<p>9</p>		<p>←のように、足跡の数が0から4つになるよう、それぞれのスライドの足跡を削除します。</p>

<p>10</p>		<p>5枚目のスライドの下あたりをクリックし、「Enter」キーで新しいスライドを作成。</p>
<p>11</p>		<p>「挿入」→「アイコン」。 「恐竜」から「肉食恐竜」のアイコンを選択し、「挿入」。</p>
<p>12</p>		<p>適当なサイズ・位置に調整。</p>
<p>13</p>		<p>「アニメーション」→「スライドイン」。</p>
<p>14</p>		<p>「効果のオプション」→「左から」。</p>
<p>15</p>		<p>「開始」を「直前の動作と同時」。</p>

16		<p>画面左のスライドのサムネイルのどれかをクリックし、「Ctrl」+「A」キーで全てを選択。</p>
17		<p>「画面切り替え」の「自動的に切り替え」にチェックを入れ、「00:01.00」に。 全てのスライドの切り替えが1秒になります。</p> <p>※ デフォルトでは GIF アニメに書き出したときにスライドは自動で1秒で切り替わるので、設定する必要はないのですが、動きを確認するためです。また、違う秒数にする場合もこのようにサムネイルをまとめて選択し、秒数を設定します。</p>
18		<p>6枚目のスライドを選択。</p>
19		<p>「自動的に切り替え」を「00:04.00」に。</p>
20		<p>「F5」キーでスライドショーを開始。 動きを確認してみましょう。</p>

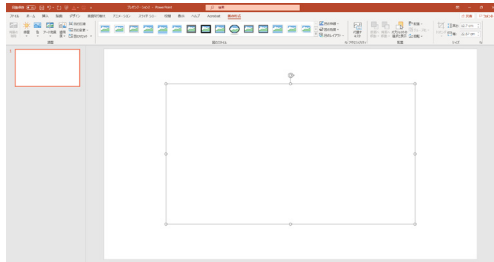
21



「F12」キーで「名前を付けて保存」。
その後、再度「F12」キーで「名前を付けて保存」。

「ファイルの種類」は普通なら
「PowerPoint プレゼンテーション (*.pptx)」ですが、
これを
「アニメーション GIF 形式 (*.gif)」にして「保存」。

22



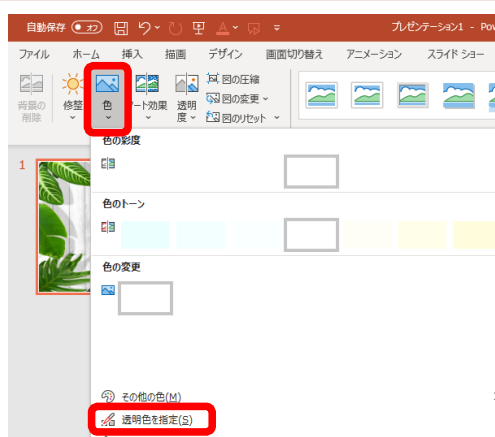
GIF アニメを確認してみましょう。
新しいスライドを作り、「挿入」→「画像」で、
保存した GIF アニメを挿入。
例として作った恐竜の GIF アニメの場合、1 枚目
が真っ白なので白い四角形が出ます。

23



「F5」キーでスライドショーを開始すると、GIF ア
ニメが動きます。

補
足



PowerPoint では透過 GIF アニメは作れませんが、
PowerPoint 上に限っては、
「図の形式」→「色」→「透明色を指定」で、GIF
アニメのどこかをクリックすれば、その色だけを
透過させることができます。



「ファイル」→「エクスポート」→「アニメーシ
ョン GIF の作成」から、GIF アニメのサイズやデフ
ォルトの各スライドの所要時間を変更することが
できます。